

今回まとめた一連のGitに関するマニュアル・調査資料は、既にSubversionの経験があるユーザーを対象に、下記の方針でまとめています。

- ・オープンなソーシャル開発を目的としたものではなく、閉鎖的な企業内開発にGitを利用する事を目的としています。
- ・クライアントはWindowsでGUI操作するものとし、利用者の敷居を下げて、多数のスタッフがGitを扱える状態にする事を目的としています。
- ・ユーザー管理、サーバーのバックアップ、拠点間（遠隔地）での開発といった点についてを考慮し、特定の環境・運用ケースを想定したワークフローを提示するものとしています。
- ・サーバーの扱いについては、調査した時に得た情報をそのまま資料化しており、選択の幅がある事を示していますが、基本的にはその調査の結果から得た判断として、RhodeCodeという管理システムを利用したワークフローを提示するものとしています。

ファイル構成は下記の通り。

[Gitマニュアル・調査資料]

```
|
|- [00]Readme.txt
|- [01]Subversionユーザーの為のGit活用の勧め.pptx
|- [02]TortoiseGitセットアップ手順.docx
|- [03]TortoiseGitのhttp(s)通信およびパスワードの記憶と破棄について.docx
|- [04]TortoiseGitのSSH通信およびパスフレーズの記憶と破棄について.docx
|- [05]TortoiseGitによるSSH通信用秘密鍵・公開鍵生成手順.docx
|- [06]（予定）TortoiseGitの使い方とワークフロー
|- [07]（予定）RhodeCodeの使い方
|- [08]（予定）大規模開発のワークフロー
|- [09]（予定）小規模開発のワークフロー
|- [10]（予定）遠隔地開発のワークフロー
|- [資料01]Gitサーバー比較.xlsx
|- [資料02]Gitに関する推奨書籍.docx
|
|- [Tools]
|   |
|   `-[git_erase_wincred_all] ... TortoiseGit が wincred で記憶する
|                                     ユーザー認証情報を一括削除する為の
|                                     ごく簡単なツール
|- [PDF]
|
|- ... 上記のドキュメントをPDFファイル化したもの
```

以上